

「令和3年度 短期大学での学びと卒業後の状況に関するアンケート」結果による 「学修ニーズ」の分析

2021年11月
IRセンター

社会人の学び直しのための学修ニーズに関する調査および資料として、愛知みずほ短期大学の卒業生（2021年3月卒業、対象者124名）に対して本学が実施した「学習経験と卒業後のキャリアに関するアンケート」の該当部分を検証した。

調査期間は2021年12月から2022年1月で、アンケート回答者数は41名（回答率33.1%）であった。本学での学生生活の充実度について質問した図1の結果より、「充実していた・ある程度充実していた」と回答した人は95.1%と満足度が高い結果が得られた。卒業後に役立っている本学の授業や授業以外の経験は、図2の結果より、「インターンシップ・学外での実習（校外実習、教育実習）」、「資格取得に関する科目（必修科目）」、「専門教育科目全般」を挙げる卒業生が多かった。一方、同項目で後輩学生に対してすすめたい内容を質問した図3の結果では、「友人との交流」、「資格取得に関する科目（必修科目）」、「専門教育科目全般」を挙げる卒業生が多かった。また、在学中に身につけておきたかった能力として、図4の結果より、「パソコンを使う力」、「一般的な教養」、「専門的知識」の順で挙げられている。今後取得してみたい資格は、図5の結果より、「取得してみたいものはない」、「管理栄養士免許」、「パソコン系の資格」の順で回答数が多かった。本学では社会人の学び直しのためのプログラムや講座を開講しているが、図6の結果より、「このことを知らなかった」と回答する卒業生が最も多く、「栄養士・管理栄養士 国家試験対策ゼミ」を「受けたいと思った」と回答した卒業生が20%強いた。

以上より、正規の教育課程への反映内容として、卒業後も友人との関係が続くよう交流をより活発にする取り組みを行うこと、学習支援としてはパソコンや情報処理の能力を向上させることが結果として得られた。また、社会人の学び直しとして本学が行っているプログラムの広報活動が不足していることが明らかとなった。今後、客観的な検証を行うために全国の他短期大学との比較を取り入れることも検討したい。

図1 質問：あなたの短大生活は、どの程度充実していましたか

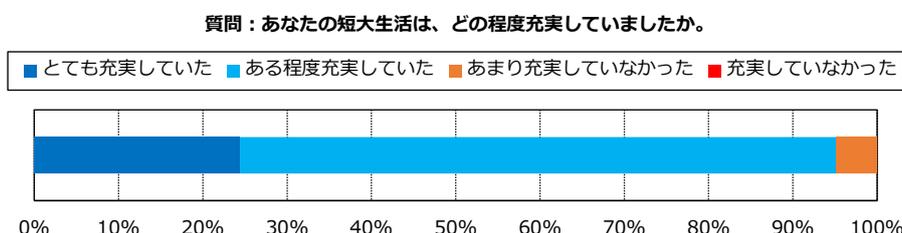


図2 質問：短大時代に講義や実習などの授業で学んだことや、授業以外での経験は、それぞれ現代どの程度役立っていると思いますか

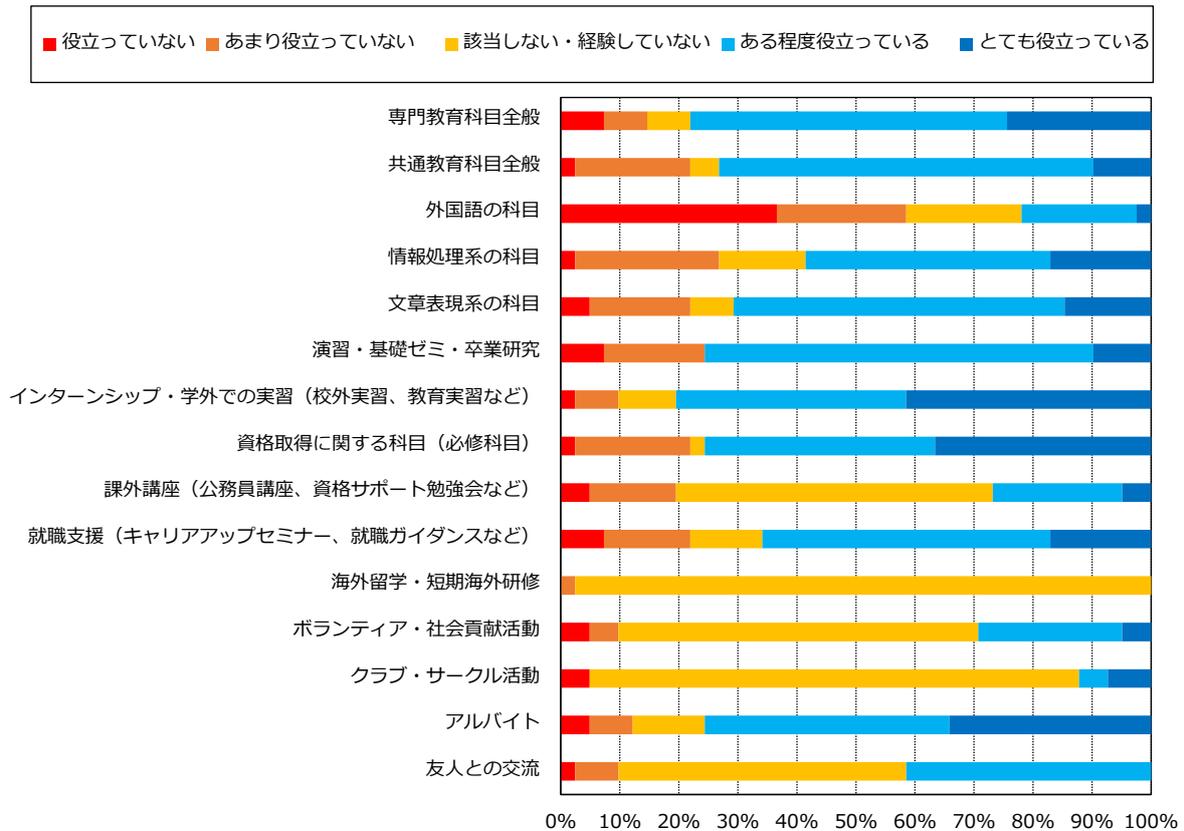


図3 質問：後輩に対して、短大時代に経験しておくようにすすめたいことは何ですか

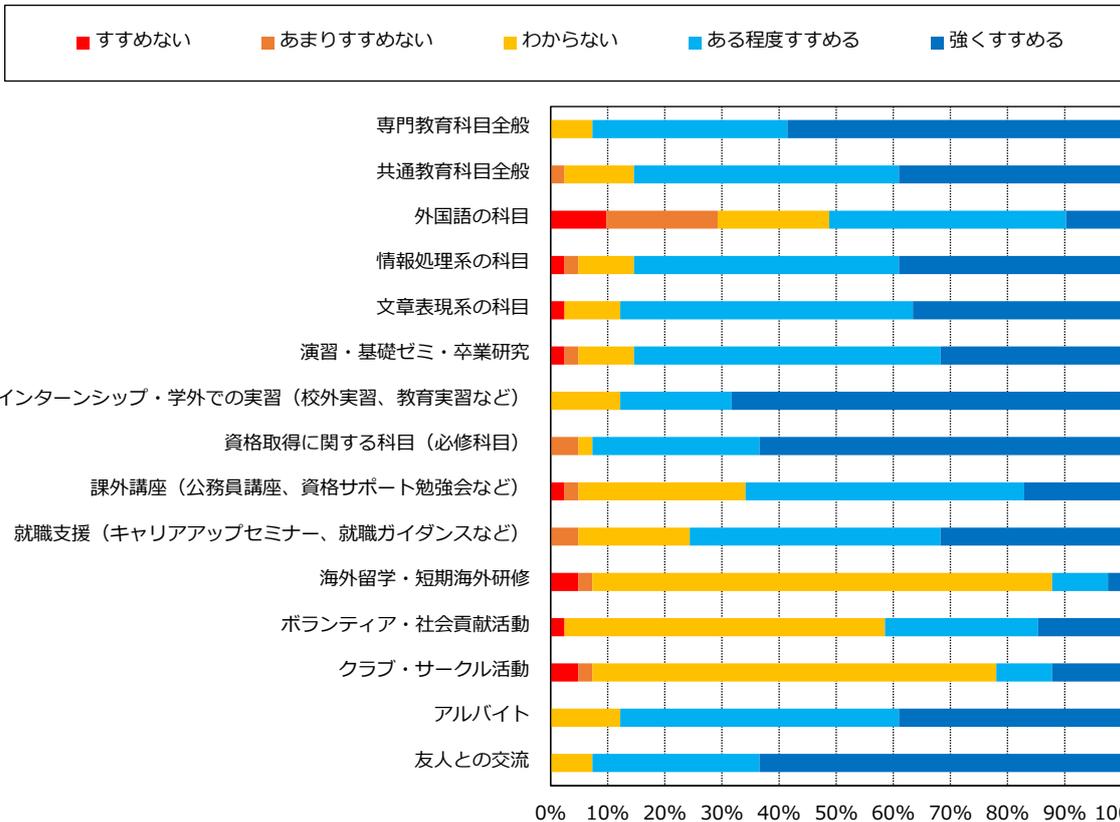


図4 質問：在学中にもっと高めておけばよかったと思う力や、身につけておきたかった力について、あてはまる項目、すべてを選んでください（複数回答可）

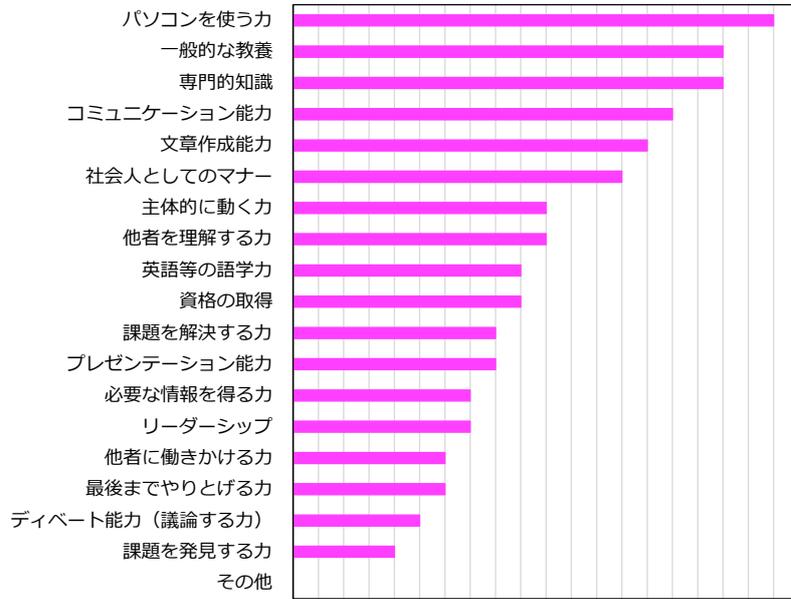


図5 質問：今後のあなたのキャリアについてお伺いします。以下の免許・資格のうち、今後取得してみたいものはありますか。今後、取得してみたいものを選んでください（複数回答可）

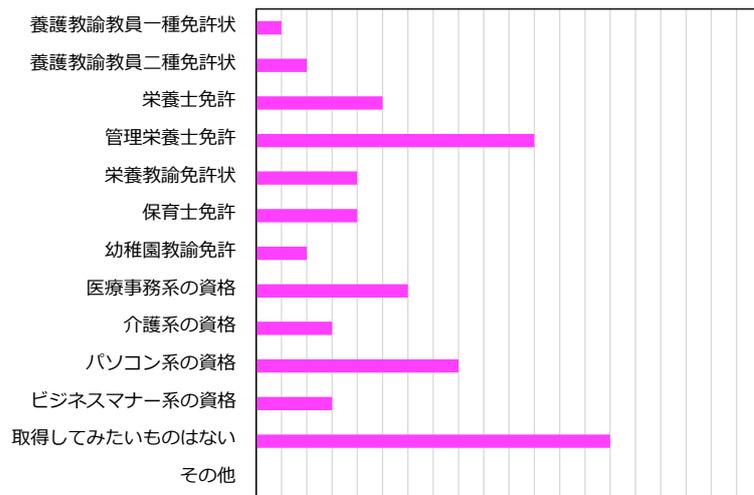
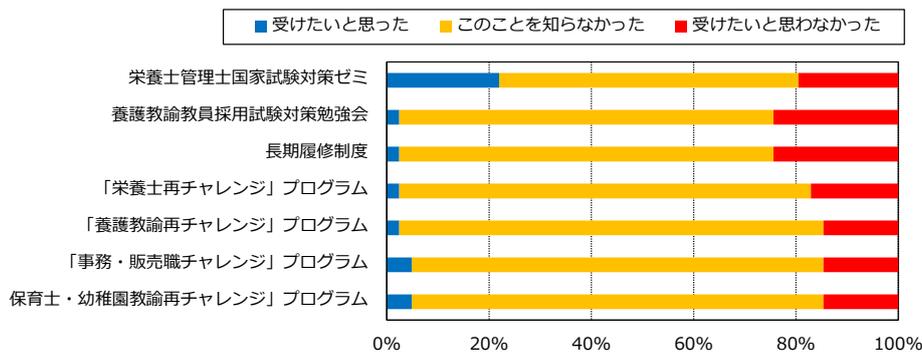


図6 質問：社会人の学び直しのための修学ニーズについてお伺いします。あなたは現在、本学で実施されている、社会人の学び直しのための以下のプログラムや講座についてどのようにお考えですか。



以上